

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 5 月 1 日

事業所名 こどもプラス豊見城教室3号館

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11	1	0		
	2 職員の配置数は適切である	11	1	0		基準は満たしているが、送迎等により手薄になる場合があり工夫しながら対応をしています
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	6	0	・トイレや玄関前に色分けを行いジョイントマットを設置している。	事業所が2階と4階である為、児童の階段乗降等に気を付けて対応を行っています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9	2	1	朝礼や終礼を活用して職員間の情報共有を行っています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	4	0		
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	4	0		自己評価表の結果はホームページにて公表しています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8	4	0		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11	0	1	毎月の動画研修を実施しています。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	12	0	0	利用開始や定期的な個別支援会議を行い、職員等の意見を集約して作成を行っています	モニタリングや担当者会議にてご家族の意向を確認し計画書に反映できるようにしています。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	3	0		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	12	0	0	運動遊びや活動内容などを職員間にて話し合い立案しています	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	2	1	・曜日毎に担当を変えて工夫している。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	10	2	0	夏休みなどの長期休暇時には園外活動をや料理教室などを行っています	毎月お便りにてご家族へ園外活動や行事の周知を行っている
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	11	1	0	作業療法士や理学療法士により、児童へ聞き取りを行い個別訓練を実施している	VRによるSST(ソーシャル・スキル・トレーニング)訓練を実施しています
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	12	0	0	朝礼にて情報共有や役割分担の確認を行っています	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	12	0	0	日々終礼を行っており、その日の児童の様子を職員間にて共有しています	終礼ノートに記録しており、当日不在の職員との情報共有も行っていきます
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	12	0	0	各種記録は毎日行っており、個別支援会議にて振り返りを行っています		

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	12	0	0	定期的にモニタリングを実施し、内容を確認をおこなっています	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	10	2	0		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	11	1	0	児童発達支援管理責任者が主に参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	12	0	0		時間割を確認したり、必要に応じて担任の先生や学校へ連絡を行い確認するようにしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	10	1	・現在、対象児の利用はない。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	10	2	0	就学前に利用していた事業所との情報共有を行っています	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	8	0	・利用児童が小学1～3年生であるため機会は少ない。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	6	1		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	7	1		3月に児童館にて作成された迷路探索に参加し地域の児童との交流を行いました。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	6	2	地域のかざぐるま連絡会に参加しています	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	12	0	0	送迎の際等にて申し送りを行っています	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	7	2	・相談を受けた場合には職員間で共有し事業所としての助言をお伝えしています	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	12	0	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	12	0	0	送迎時に保護者より相談があった際には対応しています	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	8	3	・コロナ渦にて開催保留中。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	12	0	0		ご意見があった際には迅速に対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	12	0	0	毎月お便りを発行し活動内容を発信しています	
	35	個人情報に十分注意している	12	0	0	・児童の写真を撮る際は、保護者の要望に合わせて、写真を広報誌等に載せないようにしている	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	12	0	0	基本的に送迎時に対面にて伝えるようにしています	対面にて困難な際はお電話や公式ラインにて発信しています
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	7	2		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	4	0	マニュアルは作成・保管し、職員へ周知を行っています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	11	1	0	半年に1回避難訓練を実施しています	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11	1	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	10	2	0	対象児童なし	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	6	0	利用開始時にはアレルギーの有無を確認しています	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11	1	0	ヒヤリハットがあった際は記録を行っています	終礼にて職員間での情報共有を行っています